

東西融合医療セミナー

新年度テーマ「未病の解釈・その症例と対策」

一般社団法人老人病研究会 会長
新宿漢方クリニック院長 川並汪一

テーマ：「未病の解釈・その症例と対策」

場所：新宿区新宿 1-29-8 日本公衆衛生協会（公衛）ビル1階会議室

日時：日曜日午前 10 時～12 時（定員 30 名先着順で締切り）

講師：鐘良辰、黒川胤臣、川並汪一、ゲスト講師（6,9月懇親会開催）

共催：新宿漢方クリニック、一般社団法人老人病研究会

日程とサブタイトル

第 9 回： 3 月 18 日（日） 10:00～12:00

〔未病：その真の定義〕西洋医学と東洋医学の定義は大きく異なる

第 10 回：6 月 17 日（日） 10:00～12:00 －（懇親会 12:10～14:00）

〔未病：症例の紹介〕証の見立て（弁証）と養生・治療（論治）

第 11 回：9 月 9 日（日） 10:00～12:00

〔未病：がんや認知症との関連〕その発生を予防する対策

第 12 回：12 月 16 日（日） 10:00～12:00 －（懇親会 12:10～14:00）

〔未病：難病治療との違い〕生薬と鍼の五臓六腑へのかかわり

未病セミナー開催の意義

未病に対し予防医療を実践し、健康長寿社会の実現を目指す。

- 1) 西洋医学の定義は「病気と健康の狭間」、診断が決まらず治療が出来ない。
- 2) 中医学では、「気血陰陽のバランス失調（虚証）」とみなせる。そのため
- 3) 問診、舌診、視診、脈診を介し弁証論治により養生・治療法が決まる。
（漢方・鍼灸治療、ツボ押し、薬膳、カウンセリング、運動など）
- 4) セミナーは上記内容について、実際の症例と実際の対策を紹介する。
- 5) 中医学漢方の用語に関しては予習しておくことが望ましい（添付する）。

申し込み方法その他 （添付 PDF ファイルをご覧ください）